

# アチェの子どもたちが日本にやってきました!

NPO設立三周年を迎えた今春、2007年8月の開校以来、語学習得に励んできた晃月スクール3年生の生徒代表4名を日本へ招待させていただきました。

3月29日から4月7日まで日本に滞在して、当会メンバーとの交流をはじめ、キャンプ体験や広島原爆ドーム訪問などを行いました。今回は、子どもたちの日本滞在の様子をご報告いたします!

## アチェから来日したメンバーのご紹介

フハリ・ダウド氏  
(大アチェ県・市長)

マスライラ・ビンティ・ラムリ女史  
(市長夫人)

ファルロジ氏  
(「良心、市民の会」アチェ代表)

アフマド・フォウジ氏  
(現地NGO代表)

### アチェの子どもたち



スクマ・ディニ・アマリアさん  
(高校2年生)

ヌル・エヴィダワティさん  
(高校1年生)

ラマヤンティさん  
(高校1年生)

ハニー・イルシャ・プルティウィさん  
(高校1年生)

## 滞在スケジュールのご紹介

月日	時間	スケジュール	食事	場所
3月29日(月)	午前 8:30着	関西空港到着 GA882 → 滞在先へ移動	正午頃:精華晃月庵に到着	
	午後		昼食	PAC事務局 (滞在先)
			夕食	精華晃月庵
30日(火)	午前10:00	在大阪インドネシア共和国総領事館表敬訪問	朝食	PAC事務局 (滞在先)
	午後15:30	京都府相楽郡精華町長表敬訪問	昼食	インドネシア領事館・総領事のお誘い
	18:30	お花見&八百忠本店にて夕食会	夕食	八百忠本店
31日(水)	午前		朝食	精華晃月庵
	午後		昼食	守口ロイヤルパインズホテル (開催場所)
	19:00	NPO設立三周年記念式典開催	夕食	守口ロイヤルパインズホテル
4月 1日(木)	午前		朝食	精華晃月庵
	午後 0:00	晃月神諭会・月例祭へ参列	昼食	PAC事務局 (滞在先)
		神諭会のメンバーとともにゆっくりとした一時を過ごす	夕食	
2日(金)	午前	終日:奈良市内観光	朝食	
	午後		昼食	PAC事務局 (滞在先)
			夕食	精華晃月庵(市長ご夫妻のFarewell Party)
3日(土)	午前	子どもたちの友好交流キャンプ開催	ランチ	精華晃月庵
	午後14:00~		夕食	キャンプにて
4日(日)	午前		ランチ	大正池グリーンパーク (開催場所&滞在先)
	午後~14:00		夕食	鶴橋風月・精華台店
5日(月)	午前	終日:広島観光	朝食	広島にて
	午後	(原爆ドーム・宮島)	昼食	PAC事務局 (滞在先)
			夕食	
6日(火)	午前	終日:USJ(ユニバーサルスタジオジャパン)	朝食	
	午後		昼食	USJにて
			夕食	精華晃月庵(子どもたちのFarewell Party)
7日(水)	午前11:00発	7:30:精華晃月庵を出発		
		関西空港 GA883 → ジャカルタ		ジャカルタ泊

海外へ行くのが初めてで、日本語もぜんぜんできず不安だった私は、勇気を持って日本へ来ました。到着した日、もう春なのに雪を見ることができ本当にうれしかったです。なんとなく神様が「いらっしやい」と言ってくれているような感じがしました。最初はどやってみなさんとコミュニケーションをとればよいのか迷いましたが、オジさんとパレンシアさんがいてくれたおかげで、コミュニケーションを取れるようになりました。そして、みなさんも英語で話しかけてくれて本当にうれしかったです。

お祝いのパーティーのときに、私たちが練習したアチェの伝統ダンスを、多くの皆様に見せることになりました。踊る前、本当にどきどきして、私たちのパフォーマンスがうまくいっているのか心配していましたが、皆様の拍手をいただいて、ほっとしました。また、キャンプのときには、日本の友達ができ一緒に夜遅くまでいろいろな話をしました。

皆様の暖かい気持ちをいただいて本当に感動しました。いろいろなことを体験でき、いろいろなところを見ることができ、そしていろいろなことを学ぶことができ、本当によかったです。みんなと一緒に過ごした時間、一生の思い出になりました。

私は前よりもっと頑張らなければなりません。いつかわかりませんが、もう一度日本へ行きたいです。本当にお世話になりました。どうもありがとうございました。

スクマ・ディニ・アマリア



来日のチャンスをいただいて本当にうれしかったです。会の皆さんが私たちのことを暖かい気持ちで見守ってくださっていること、本当に感動しました。大きな家族のように感じていました。ずっと会いたかった渚先生にもお会いできて、うれしかったです。

残念ながら、晃月先生の様子を見て、まだ完全に治っていないこと本当に悲しかったです。でも、選暦のお祝いの日に、晃月先生が本当に喜んでくださって笑顔でいる姿を見て本当によかったです。

私たちはこれから先誰にも負けないように、勉強を頑張っていきたいと思います。晃月先生、早く元気になってください。

ラマヤンティ



## 滞在先でのひとコマ&子どもたちのメッセージ



日本へ行くのが初めてでしたから、とてもわくわくしました。いろいろなところを見ることができて、よかったです。本当にきれいな国でした。見たかぎりでは、たぶんみんなあまりごみのポイ捨てをしないと思います。

広島へ行ったときに原爆ドームを見ることができて、爆弾を落とされた広島市民の方たちの辛さが伝わってきたような気がしました。でもみんなその辛さを乗り越えて、早く立ち上がったことは本当にすばらしいと思います。アチェの人々と政府も、広島と同じようにしっかり頑張ってほしいと思います。

私の夢はまだはっきり決まっていますが、計理士、心理学者、また、英語の通訳になるか、まだ悩んでいます。でもはっきり決まっているのができるだけ海外で留学することです。

「良心、市民の会」の皆様のおかげで、日本に行くことができ本当にありがとうございました。また、もしチャンスがあれば、ぜひワーキングスタディプログラムの形で留学したいと思います。

最後に晃月先生にメッセージがあります。一日も早く元気になってください。私たちは、先生の健康と幸せを神様に祈っています。

ヌル・エビダワティ



## message

### フォウジ君のメッセージ

よりもまず、LCO代表として、「良心、市民の会」NPO設立三周年記念式典に参加することができ、また、会の皆様にお会いできたこと非常に光栄です。今回が初めての海外でしたので、自国との違いを比べてばかりいました。食べ物から習慣に至るまで、すべてのことが初体験で、みんな大事だと思いました。

日本を訪問させてもらえることになり、「日本は素晴らしい」「本当にきれい」といった感想だけで終えるのではなく、アチェの将来に向けて日々を過ごすために、「羨ましい」「自分もあんなふうになりたい」という熱い想いを持って帰ることが目標でした。

まだまだ未熟者ですが、これからも一所懸命がんばっていききたいと思います。日本滞在中、きっと不十分なところがあったと思います。もし何か失礼なことをしていたら、お許しください。

皆様いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

アフマド・フォウジ

### 松川晃月師のメッセージ

NPO「良心、市民の会」三周年記念で来日していたインドネシアからの子ども4名・職員2名が4月7日大満足で離日した。

日本の春を満喫し、晃月神諭会、「良心、市民の会」会員の皆様のご支援のもと、広島宮島、奈良公園、USJに遊び、京都府井手町大正池でのキャンプの思い出と、皆様からの御喜捨でそれぞれ持ちきれないおみやげを持って、インドネシアに戻っていきました。口々に日本は素晴らしいという言葉を残して、彼らが今後日イの懸け橋になることを期待したい。

本当に日本は素晴らしいのか、今後の我々に課された課題として、各人各位により一層の精進を願ひし、この度の御礼としたい。 「晃月神諭会」主座 松川晃月



▲選暦を迎えた松川晃月師とフハリ市長

### フハリ市長のメッセージ

2004年スマトラ島沖地震・インド洋大津波以来、今日まで続く「良心、市民の会」の支援活動および大アチェ県政府への連携と協力関係に対し、心よりの御礼と感謝を申し上げます。

ご存知の様に、災害から五年が過ぎ、アチェ州において復興支援活動に取り組んできた多くの国内および国際NGOが、それぞれの活動プログラムを終了することになりました。しかしながら、「良心、市民の会」は、日本国ODAを活用して、地域のための教育センター建設を目標とする教育支援活動を引き続き継続する意向を示して下さったことは感謝の意にたえません。

大アチェ県における開発ニーズは多岐にわたるため、多くの人的資源と金融資源が必要であります。しかし、今の限られた資源の中では開発を進めることさえ非常に難しいのが現状です。この課題に対する我々の1つの解決策は、パートナーシップであると考えています。

アチェの将来にとって非常に価値のある教育センター建設の夢が現実になる日を想い、大アチェ県の代表として、この度の覚書に署名をさせていただきました。これからも、アチェの子ども達をはじめ、地域の方々に貢献できるよう、更なる連携と協力関係を深めて参りたいと願っております。

引き続き、ご協力の程よろしく御願申し上げます。最後になりましたが、日本滞在中にはとても素晴らしい時間を過ごさせていただき、本当にありがとうございました。また、皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

平成22年6月15日

フハリ・ダウド